

平成27年度(後期)千葉市史主催 講座のご案内



編さん便り

Hiba-shishi News Letter NO.15 2015.9

そっだ、

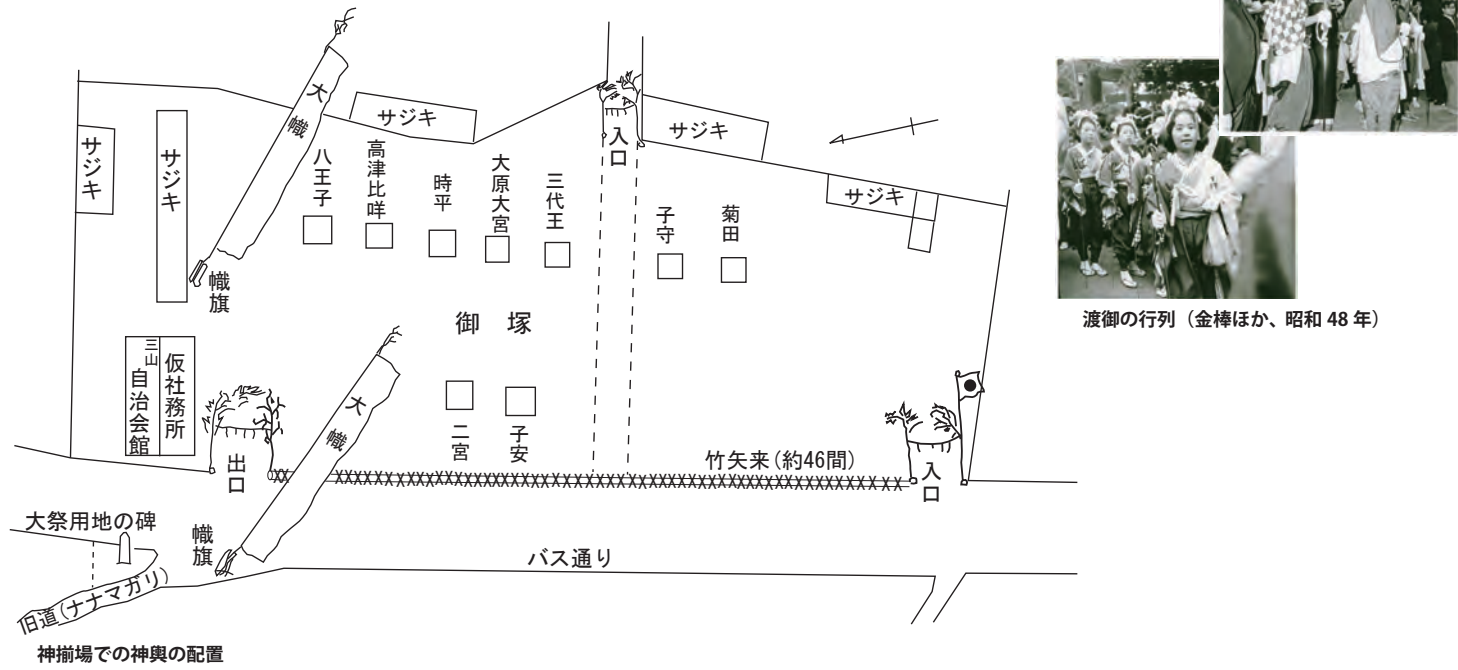
三山の七年祭りを
見にいこ



七年祭りに参加する神社のおおよその位置

それでは祭りのおおまかな流れをみてみましょう。

七年祭り当日は、正午頃を目安に大原大宮神社をはじめとする各社の神輿（あるいは山車）が、三山に設けられた「神揃場」（かみそろいば）へ集まります（下図）。



すべての神輿が揃って神事が終わるまでに、およそ五時間かかるとされています。

神揃場での神事を済ませたのち、神輿は順次二宮神社へと向かい、安産御礼の昇殿儀式が行われます。

二宮神社境内では多くの昇夫たちによって神輿がもまれ、二宮神社の神輿は御飯屋へ、そのほかの神輿は昇殿します。ただ、子守神社の神輿だけは、その大ききから

社殿中には入りません。神事を終えた神輿は、また境内でしばらくもんだ後、境内を出て行きます。

社殿入り口ギリギリを通る神輿の姿は、まさに大迫力。必見です。

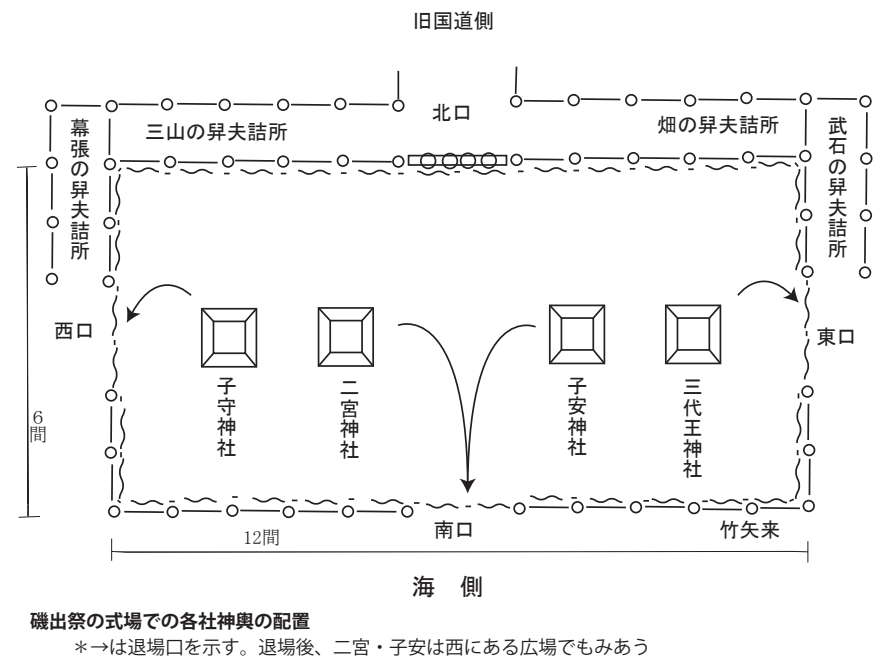


二宮神社への渡御が終わった3日の深夜からは、幕張の磯辺で「産屋の神事」（磯出祭）が行われます。式場の周囲には竹矢来が、そして内部に参加する四つの神社（二宮神社・子守神社・子安神社・三代王神社）の神輿を置くための塚が築かれます（右頁図）。この磯出祭は、



磯出際に行われる広場での子安神社・三代王神社の神輿と舁夫たち（昭和 48 年）
もともとは砂浜で行っていましたが、現在では埋め立てられてしまっているため、もとの海岸線である国道 14 号線と幕張一丁目西浜田の旧国道に挟まれた広場で行っています。上の写真では、図にあるような周囲をぐるりと囲む竹矢来や、各神社の神輿や提灯、半纏を着た舁夫たちのようすが確認できます。

午前3時半に幕張の祭典委員長により開始が告げられると、子守神社宮司と祭典委員長、二宮神社、子安神社、三代王神社の関係者、そして白張姿の者に背負われた両男女（リョウトメ）が入場します。竹矢来の中には子守神社100人、その他の三社各50人、両男女関係者が参列して磯出式が行われます。子守神社宮司の合図で金棒長がカナボウを振って鳴らすと、他の三社のカナボウがそれに続き、出産の儀式、磯出式が始まります。ここ



では、各社の神官が、それぞれの神輿に向かって一斉に祝詞を奏上します。

続いて行われる産屋の神事は、子安神社の神輿の前、周囲をベニヤ板と旗で囲まれたところで行われます。莫座を敷いて盥を置き、その上に蛤を手にした両男女が座り、交換の仕草をします。次に赤い装束姿の子安神社宮司が、神輿の上に置かれた大真榊を取り上げて何度か神輿に触れ、神儀を行います。それが終わると榊持が神輿に上り、大真榊を取り上げて参列者を祓い、大真榊の枝を折り、晒をちぎって投げ、その後突然下から引っ張られて転落すると、それを合図に榊や蛤の奪い合いが始まります。その間に両男女は退場、供物が片付けられます。午前4時過ぎから各社の神輿は退場、それぞれ帰路につき、磯出祭が終了します。

長きにわたり行われてきた三山の七年祭りも、戦中はその影響が皆無というわけにはいきませんでした。日中戦争の始まった昭和12年（1937）はそれまで通り行われましたが、18年に至り、戦況の悪化・電力不足や物資統制の影響から、神輿を出さず、神幣のみの神霊渡御という異例の形をとって行われました。

その後、昭和 21 年に日本国憲法公布を祝って臨時大祭が行われ、同 24 年には神輿渡御に戻ることが決定されました。同 30 年以降は、それまでとは内容に若干の変更が見られるものの、7 年に一度の三山の七年祭りが続いてきています。

様変わりしているとはいえ、戦前・戦中・戦後と、途切れることなく続いてきた七年祭り。この先も長く続いていって欲しいものです。

前回行われた平成 21 年ではなく昭和 48 年という「ちょっと前」の写真などを使って、七年祭りをご紹介しました。「ちょっと前」と現在、変わっているところはあるでしょうか。

今回を逃すと次はまた六年後。なかなか出会えないこのお祭りを、ぜひ実際にご覧になって、確認してみてください。

* 本稿の内容は、白井千万里「三山の七年祭」(『千葉いまむかし』18号、2005年)、千葉市教育委員会『民俗調査報告書 三山の七年祭—二宮神社式年大祭—・同記録編(1975年)に拠っています。

「千葉市史」編さんのため、古い資料・昔の写真などの情報を集めています。

ご家庭で撮影されたスナップ写真も、当時の「千葉」をみることができる貴重な資料です。

いわゆる「古文書」も大歓迎です。

聞き取り調査も行いたいと思っています。戦時中の体験、幼い頃の記憶など、千葉市域に関してお話いただける方がおられましたら、ご連絡ください。

ご提供頂いた資料、伺ったお話の内容の扱いには、十分配慮致します。

皆さまからの情報提供をお待ちしています。

資料、
求ふ。